

○一般社団法人 日本森林学会 2014年度第1回(通算448回)理事会議事録

日時:2014(平成26)年5月29日(木)14:00~18:00

場所:東京都文京区弥生1-1-1 東京大学農学部フードサイエンス棟1階会議室1

開催者:大河内勇

出席者:大河内勇会長、黒田慶子副会長、正木隆、田中浩、福田健二、太田祐子、竹中千里各常任理事、戸田浩人、船田良、松本光朗、柴田銃江、小島克己各理事、井出雄二、高橋正通各監事、上野真義、南光一樹、小松雅史、當山啓介、菊地賢、吉田智弘各主事、稲村崇子(事務局)

議長:大河内勇

審議事項:

本理事会で議論・決定された事項は以下の通りである。

1. 第128回大会の開催予定地区の決定

正木理事より、2016年の第128回大会の開催地区を、第443理事会で承認された開催順に基づき九州地区とし、開催機関の推薦を九州森林学会に依頼することが提案され、承認された。地区別の会員数に大きな変動があった場合については、開催順序を見直すことができることについても再確認された。

2. 日本森林学会各賞候補者推薦様式変更の承認

正木理事(表彰担当理事代理)より「日本森林学会表彰規則」の改定にあわせた、日本森林学会各賞候補者推薦様式の変更(案)について提案があった。審議の結果、修正の上、再検討することとなった。

3. 第126回大会(北海道大学)での高校生ポスター発表の実施

正木理事(中等教育連携推進委員会委員長代理)より、第126回大会(北海道大学)でのポスター発表の実施について提案があり、承認された。

4. 森林・自然環境技術者教育と育成に関する集会開催のためのワーキンググループ作成の承認

戸田理事より、126回大会(北海道大学)での森林・自然環境技術者教育と育成に関する集会開催に向けたワーキンググループの作成について提案があり、承認された。

5. 林業遺産に関するプレスリリースの承認

正木理事(林業遺産選定委員会委員長代理)より、林業遺産事業の開始を社会に向けてアピールするために、学会としてのプレスリリースを行うとの提案があり、承認された。

6. 総会開催を5月にすることについて

正木理事より、2月から3月にかけて監査・決算業務の遂行に専念するために、第126回大会(北海道大学)から総会を5月にすることが提案され、承認された。

7. 理事会議事録の承認

2014年度第1回(通算第448回)理事会(2014年3月26日開催)、および2014年度第1回メール理事会(2014年4月1日提案)の議事録が承認された。

8. 次回理事会について

第450回理事会を9月に開催することが決定された。

報告事項:

その他、下記の報告が行われた。

1. 新体制下の検討課題について

大河内会長より、「日本森林学会2014-2015年度の検討課題」が提示され、1) 社会貢献への取り組み、2) 成果発信力の向上、3) 学生にとって魅力のある学会・大会、4) 国内研究機関活性化、5) 国際化推進、以上の5点を軸に取り組みたいとの方針が示された。

2. 第125回日本森林学会大会報告

正木理事(第125回大会運営委員長代理)より、2014年3月26日～30日に大宮ソニックシティ(一部東京大学)で開催のあった第125回大会の状況報告がなされた。正式な決算報告は次回の理事会で行うとの説明があった。

3. 大会運営委員会引継会議報告

正木理事より、2014年5月1日に東京大学にて大会運営委員会引継会議が行われ、第125回大会(東京大)から第126回大会(北海道大)への引継が完了したとの報告があった。

4. 第126回日本森林学会大会準備状況報告

正木理事(大会担当理事代理)より、第126回大会(北海道大学)について、開催準備状況についての報告があった。

5. 科研費の審査結果報告

正木理事より、平成26年度科研費研究成果公開発表(B)「里山広葉樹林の保全と活用—東北の可能性」が採択されたこと、および平成26年度科研費研究成果公開促進費国際情報発信強化(B)は不採択であったことが報告された。

6. 会計担当からの報告

田中理事より、活動報告、個人会費の使われ方についての試算、および法人化後2年を経過したため今年度から消費税の納税義務が発生することと、税率増加にともない対応すべき課題についての報告があった。

7. 日林誌編集担当からの報告

柴田理事(日林誌編集担当理事代理)より、日林誌の編集・審査状況、97巻の特集について、および編集委員(脊椎動物担当)の交代について報告があった。また日林誌にインパクトファクターを付与することについて、意見の交換が行われた。

8. JFR編集担当からの報告

福田理事より、JFR編集委員(61名)、JFRの出版、および活動計画の報告があった。また出版倫理および投稿料と会員のメリットについて意見の交換が行われた。

9. 森林科学編集担当からの報告

太田理事・菊地主事より、森林科学71・72号の編集・発行状況、平成26年度森林科学編集委員について、および国立情報学研究所電子図書館事業について報告があった。

10. 企画・広報担当からの報告

正木理事(企画・広報担当理事代理)より、日本森林学会メールマガジンの発行状況、ifs-mailのアドレスリストの更新、企画広報委員会委員の組織について報告があった。

11. ウェブサイト編集担当からの報告

正木理事より、ウェブサイト更新作業報告があった。

12. 表彰担当からの報告

正木理事(表彰担当理事代理)より、今年度の表彰関連のスケジュール・予定についての報告があった。

13. 男女共同参画担当からの報告

竹中理事より、第125回大会における男女共同参画関連企画100周年記念特別セッションについて、男女共同参画ワーキンググループのメンバーについて、および今年度の活動計画について報告があった。

14. JABEE担当からの報告

戸田理事より、活動報告があった。

15. 国際交流担当からの報告

松本理事より、活動計画について報告があった。英語での情報発信力の強化に関連して、大河内会長からJFR編集担当およびウェブサイト編集担当に協力して対応するように指示があった。

16. 国内研究機関連携担当からの報告

柴田理事より、活動計画について報告があった。また各県の試験研究機関から森林学会へのニーズを掘り起こすための工夫について議論が行われた。

17. 木材学会からの報告

船田理事より、木材学会60周年に関連した記念式典の開催、および活動報告があった。

18. 社会連携委員会からの報告

黒田副会長より、社会連携委員会(案)、環境省からの情報提供依頼について、および日本学術振興会関連の情報提供があった。また学生が研究員や各賞に応募することについての学会からの支援策について議論があった。

19. 中等教育連携推進委員会からの報告

正木理事(中等教育連携推進委員会委員長代理)より、昨年度の活動報告、とくに125回大会(東京大学)で初めて実施した高校生ポスター発表についての報告と今年度の高校生ポスター発表の運営方針、および中等教育連携推進委員会委員の選任について報告があった。

20. 林業遺産選定委員会からの報告

大河内会長(林業遺産選定委員会委員長代理)より、活動報告、林業遺産選定委員の選任、および今年度の林業遺産選定方針について報告があった。森林科学で林業遺産を紹介することに関して議論した結果、森林科学で概略を記載し、詳細な解説は森林学会のウェブサイトで行うことになった。

21. プログラム編成委員会からの報告

小島理事より、2014-2015年度のプログラム編成委員会委員の選任について、およびプログラム編成委員会第5回メール審議の結果について報告があった。

22. 総務担当からの報告

正木理事より、名簿作成委員会の組織について、および会員動向と活動計画についての報告があった。

議事録作成者: 正木隆、上野真義